

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

**事業名** 教育指導専門員を中心とした魅力ある消防団創造大作戦

**自治体名**

広島県三原市

**消防団名**

三原市消防団

## 1 事業の目的

消防団のニーズが高まっていくなかで、消防団員数が全国的に減少していることにフォーカスを当て、教育指導専門員を中心とした「魅力ある消防団を創造」すること。また、イメージアップ広報に力を入れ、消防団のネガティブなイメージを刷新すること。

## 2 事業内容

### 1 資機材整備

エリアごとの訓練を推進するため、訓練用資機材(消火栓トレーニングキット、ホース、火災性状学習キット・トランシーバー)を整備し、訓練を実施した。

### 2 イメージアップ広報

三原市ふるさと大使である「にゃんたぶう」とコラボした消防団員募集ポスターおよび広報用動画を作成し広報活動実施。

### 3 団員の負担軽減のためのデジタル化推進

各種要領・訓練動画等をオンラインストレージサービスを使用して全団員に展開。(訓練参加できない団員の知識向上・事前に要領を展開することで、訓練時間の削減等)

### 4 教育指導専門員士気高揚

本事業の中心的存在である教育指導専門員に対し、ヘルメット、ネームワッペンを貸与しやりがいや士気高揚に繋げた。

## 3 事業成果

### 1 資機材整備

資機材導入をきっかけに各方面隊で様々な訓練を実施することが可能になり、団員のスキル向上に繋がった。さらに、消防団と消防署員の顔の見える関係の構築も行えた。

### 2 イメージアップ広報

市民から知名度の高いふるさと大使とコラボすることで馴染みのある広報に繋がった。

### 3 その他

事業目的である、「魅力ある消防団を創造」については団員からの負担軽減を実感する声、市民アンケートによる消防団イメージの大幅向上も見受けられたため、概ね達成できたように感じる。しかしながら、魅力ある消防団を創出していくことは、単年で成果が大幅に現れるものではないと感じているため、令和8年度以降も本事業をもとに、更に魅力ある消防団の創出を目指していく。

## 4 目標達成状況

| 指標      | 単位 | 当初目標 | 実績値 | 備考 |
|---------|----|------|-----|----|
| 方面隊訓練   | 回数 | 4回   | 4回  |    |
| 広報      | 回数 | 8回   | 8回  |    |
| 効果確認・検討 | 回数 | 3回   | 3回  |    |

## 5 その他参考情報

【消防団員募集ページ】

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/syuboh/syobodanbosyu5.html>

